

86 やまぐちのかまぼこ、すごいんです

平成30年10月18日掲載

山口県は日本海、響灘、瀬戸内海と三方を海に開かれ、さまざまな魚介類が取れて特産品も多い…そんなイメージをお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

でも山口県の漁業は実際には全国の中で、どれくらいの位置にあり、どのような特徴があるのかははっきりとは分かりませんよね。そうした漁業の実態は「漁業センサス」をはじめとする統計調査の結果から読み取ることができます。

漁業センサスとは、わが国の漁業の実態を把握するため、農林水産省が5年に1度すべての漁業関係者を対象に実施する大規模な調査です。

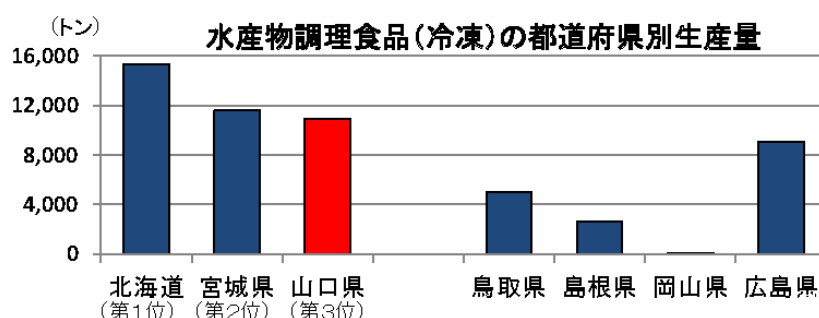
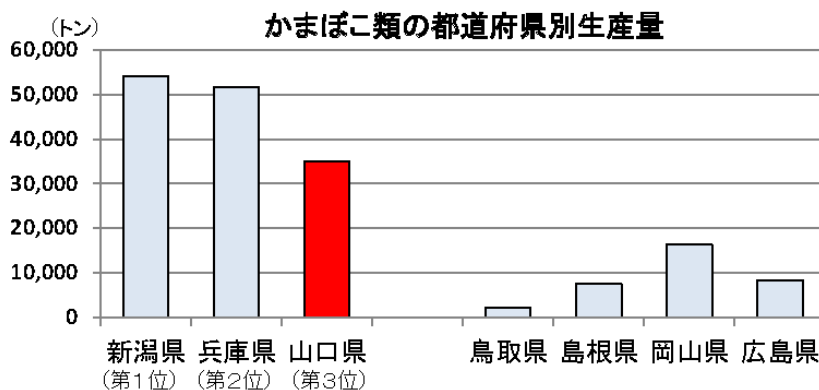
前回実施された「2013年漁業センサス」の結果では、山口県の漁業就業者数は5,106人でした。これは39都道府県中13位で、全体の上位3分の1くらいの位置にいることがわかります。

また同調査では水産加工品の生産量も調査しており、かまぼこ類の生産量は3万4,982トンを全国3位、水産物調理食品（冷凍食品）の生産量も1万9,377トンを3位と、山口県の水産加工業は全国でも上位であることがわかります。

その他にも、同じ農林水産省が毎年実施する「海面漁業生産統計調査」からも漁業の実態を見ることができます。こちらでは都道府県別の魚種別漁獲量を調査しており、山口県はアマダイ類が1位、チダイ・キダイ類3位、サザエは2位となっています。

統計調査の結果を見ればイメージを具体的な数字として確認することができますね。

本年は「2018年漁業センサス」の実施年にあたり、11月1日現在で調査を実施します。10月中旬から、対象となる世帯（事業所）には県が任命した調査員が伺います。ご回答いただきますようよろしくお願いいたします。



出典：農林水産省「2013年漁業センサス」
*上位3都道府県及び中国地方4県